

# 人・農地プランは 人と農地の「未来の設計図」です。



## 人・農地プラン

農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の発生等、農業が厳しい状況に直面している中で、持続的な未来ある農業を実現するためには、人と農地の問題を一体的に解決していく必要があります。

問題解決の手段として、農業者の話し合いに基づき、地域において中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者（中心経営体）や、地域における農業の将来の在り方等を明確にした「未来の設計図」それが人・農地プランです。

## 人・農地プランの実質化

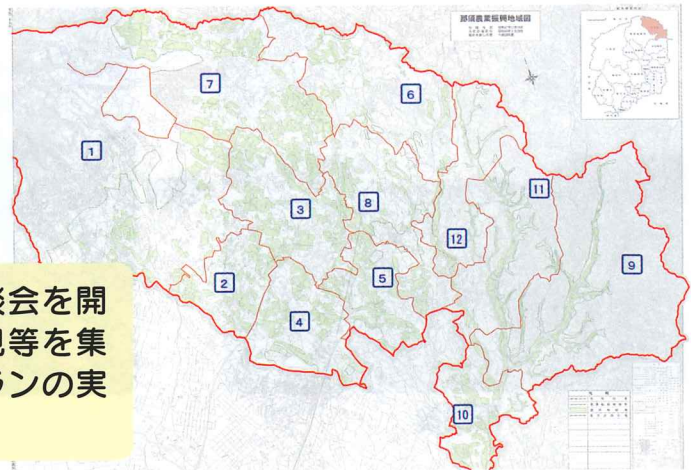
今後、中心経営体への農地の集約化に関する将来の方針を作成するため、人・農地プランをより具体的な内容に見直し、実質化することが必要となります。

那須町では令和2年11月より、

町内全域を対象とし、地区ごとに集落座談会を開催しています。過去に実施、集計した農家意向調査（アンケート）の結果を活用し、プランの実質化に向けた話し合いを行っています。地区ごとに、農業者の高齢化や担い手の確保ができていくか等の現状を把握し、地区の5年後、10年後を考えた時に、誰がどのようように農地を使って農業を進めていくのか、将来の課題等を農業者の皆さんに意見として出していたいただき、集約していきま

す。今後、農業者が農地バンク事業を活用し、農地の集積・集約化を進める場合や、各種補助金等の支援を受ける際には、実質化された人・農地プランが重要となるため、プランの構築に向けた取り組みを進めてまいります。

那須町では、町内を12地区に分け、プランを作成します。  
※農業委員の担当地区ごとに区割り



地区ごとに集落座談会を開催し、農業者の意見等を集約して人・農地プランの実質化を目指します。



11/14 田中～上川地区座談会



11/28 伊王野地区座談会